

ThreeBond



2024 ALL JAPAN

SUPER FORMULA CHAMPIONSHIP

RACE REPORT



Round.5

Mobility Resort Motegi



第5戦もてぎ大会 後半戦に向けて巻き返しを狙う

2024年度全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ第5戦が、8月24日(土)～25日(日)にかけて、栃木県のモビリティリゾートもてぎで開催された。ここまで原因不明のセッティング難に苦しんでいたチームは、原因の1つがギヤボックスケーシングの疲労にあるのではないかと考え、新品のギヤボックスを投入してレースウィークに挑んだ。

想定外が続いたフリー走行と公式予選

24日(土)午前に行われたフリー走行では、新しいアプローチでまとめたセッティングで三宅選手は順調にタイムを縮め、セッション終了前にニュータイヤを装着して公式予選に向けたシミュレーションにかかった。しかし突然エンジンが吹き上がらなくなるトラブルが発生。ピットへ戻ることとなったため公式予選に向けたシミュレーションは中断、ラップタイム更新もならず、21台中20番手でフリー走行を終えた。トラブルは燃料系統に発生したもので、チームはセッション終了後のインターバルに燃料系の部品を交換、公式予選に備えた。

24日(土)午後に行われた公式予選では1つでもポジションを上げるべく、チームはフリー走行から更にコーナリング重視のセッティングに変更して三宅選手を公式予選Q1A組に送り出した。しかしこのセッティング変更によってタイムアタック中、想定外のアクシデントに見舞われる。第3コーナーでブレーキングをした際に車体バンプの影響からタイヤがロック、コーナーを曲がりきれずオーバーランしてしまった。オーバーランしたことで三宅選手はタイムアタックを打ち切り、ノータイムでセッションを終えた。このままでは公式予選不通過となり決勝レースへの出走ができなくなるため、チームは嘆願書を提出、25日(日)の決勝レースは最後尾からのスタートとなった。



Pos	No	氏名/タイム
1	3	山下 健太 /1' 31.995
2	6	太田 格之進 /1' 32.074
3	39	大湯 都史樹 /1' 32.091
-	12	三宅 淳詞 /DNQ



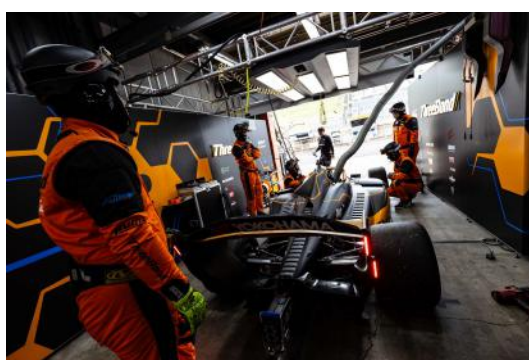
再びアクシデントに見舞われた決勝レース

24日(土)の夕方から激しい雷とゲリラ豪雨が北関東周辺を襲い天候が心配されたが、25日(日)は朝から晴天となり気温、路面温度ともに上昇した。午後2時40分に決勝レースがスタートすると、三宅選手は得意のスタートで第5コーナーまでに4台をオーバーテイク。しかしヘアピンの立ち上がりでわずかに加速が鈍り、大嶋選手のドライブするマシンが接近した状態で90度コーナーへ進入した際にアクシデントが発生。大嶋選手の左前輪が三宅選手の右後輪に接触したため姿勢を崩してスピン、最後尾へ後退した。

三宅選手はレースに復帰できたものの、接触の影響で右後輪がバーストしてしまったため、緊急ピットインとなった。チームは接触によりマシンが破損した可能性があると考え、タイヤを交換するとともにマシン各部をチェックした。幸運にもマシンに破損は見つからず、三宅選手はコースに戻ったがこの間に2周遅れとなってしまった。

決勝レースで周回遅れになってしまった場合、挽回は実質不可能となってしまふ。しかしチームは諦めず残った周回でベストラップを目指して走行を続けた。三宅選手のラップタイムは出走21台中4番手で、上位陣と遜色ない走りを見せた。決勝レースの結果は20位となったが、このタイムを出すことができたことは、次戦に向けての良い流れを掴むきっかけとなるだろう。

次回シリーズ第6戦、第7戦は10月12日(土)~13日(日)、静岡県富士スピードウェイで、1大会2レース制にて開催される。



ドライバー:三宅淳詞 コメント

決勝レースのスタートは完璧とは言えませんが、混戦の中で場所取りがうまくいき、ポジションを上げることができました。しかしヘアピンを抜けた際に加速が鈍ったことで、後方のマシンに追いつかれてしまい90度コーナーでイン側に入れられ、1車線空けたつもりで進入したら接触してしまいました。今回の接触はレーシングアクシデントなので、どちらが悪いというわけではありません。ただ、混戦は集団のトップで走れば避けることができるので、予選でタイムを出せなかった私の責任です。レースに復帰した時点で既に周回遅れになっていたのも、他のマシンの動向に注意しながら、次のレースに向けたデータを取るために走り切りました。今回は公式予選でタイムが出せず、決勝レースで接触と悪い流れになってしまいましたが、ラップタイムは着実に上位陣に近づいてきているので、次の富士では良い流れに乗りたいと思います。



監督:道上龍 コメント

今回のレースウィークは24日(土)のフリー走行、公式予選と立て続けにトラブルやアクシデントに見舞われ非常に悪い流れになってしまいました。決勝レースでは接触した後、タイヤ交換のみで再スタートすることも考えましたが、万全を期すためにマシンをガレージに入れてチェックをしたため2ラップ遅れになってしまいました。レース復帰後、単独で走っていたので単純な比較はできませんが、タイムはトップグループの選手とほぼ同じペースで周回できていたので、セッティングの方向性は良かったと考えています。周回遅れになった時点で、勝負権はなくなっていたので、とにかく最後まで走ってマシンのバランスを確かめながら次回以降のレースを考えデータ収集に努めました。今回の決勝レースは残念な結果にはなりましたが、次に繋がる手答えはあったように感じています。



アドバイザー:塚越広大 コメント

今の状況を好転させるために、このレースではこれまでと違った手法のセッティングをトライしました。まだ結果には現れていませんが、感触は良くなる方向に向かっていると思います。24日(土)の公式予選は期待していましたが、フリー走行でトラブルが出たことでタイムアタックのシミュレーションが行えず、その結果、公式予選では車高の詰めが甘くなって悪い流れになってしまいました。決勝レースではスタートで一気に順位を上げ、三宅選手にも良い感触があったとは思っています。アクシデントがあったことは残念でしたが、ベストラップを目指してプッシュした結果、ベストラップは出走21台中4番手のタイムを出すことができました。これは良い方向だと思うので、次戦に向けてさらにセッティングを熟成させていきたいです。



チーフエンジニア:新井凌 コメント

前回のレースで良かった部分を取り入れたセッティングを持ち込みましたが、良くなったところがあった反面、悪くなったところもあり、悪くなった部分を直しきれないレースウィークになってしまいました。公式予選に向けては、曲がりやすい方向へセッティングを大きく振り、限界のポイントを探ろうと試みましたが、結果として車体が路面に接触してしまい、タイムを残すことが出来なかったため、三宅選手には申し訳ないことをしてしまいました。決勝レースでは単独走行時に上位の選手と遜色ないタイムで周回できていたので、セッティングとしては手答えがありました。次の富士ではまず公式予選で良い結果が出せるように準備を進めます。



Round.5 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Total Time
1	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1:00' 10.235
2	3	山下 健太	KONDO RACING	1:00' 11.838
3	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN	1:00' 14.496
4	64	山本 尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING	1:00' 15.227
5	36	坪井 翔	VANTELIN TEAM TOM'S	1:00' 22.963
6	39	大湯 都史樹	VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	1:00' 28.557
7	15	岩佐 歩夢	TEAM MUGEN	1:00' 30.297
8	4	小高 一斗	KONDO RACING	1:00' 34.073
9	8	福住 仁嶺	Kids com Team KCMG	1:00' 34.857
10	65	佐藤 蓮	PONOS NAKAJIMA RACING	1:00' 37.706
11	20	国本 雄資	ITOCU ENEX TEAM IMPUL	1:00' 38.453
12	7	小林 可夢偉	Kids com Team KCMG	1:00' 39.005
13	19	ニック・デ・フリース	ITOCU ENEX TEAM IMPUL	1:00' 39.472
14	14	大嶋 和也	docomo business ROOKIE	1:00' 40.131
15	55	大津 弘樹	TGM Grand Prix	1:00' 44.398
16	37	笹原 右京	VANTELIN TEAM TOM'S	1:00' 55.521
17	50	木村 偉織	San-Ei Gen with B-Max	1:00' 56.560
18	53	Juju	TGM Grand Prix	1:01' 19.936
19	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	56' 52.222
20	12	三宅 淳詞	ThreeBond Racing	1:01' 30.373
	38	阪口 晴南	VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	DNF



Drivers & Team Ranking

*表中ポイント数字の左側:予選ポイント 右側:決勝ポイント

順位	ドライバー	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9
			鈴鹿	AP	SUGO	富士	もてぎ	富士	富士	鈴鹿	鈴鹿
1	野尻 智紀	58	1+20	2	3+10	11	11				
2	牧野 任祐	53	1	2+20	4	6	20				
3	坪井 翔	43.5	0	11	1+5.5	20	6				
4	山下 健太	39.5	15	4	2.5	0	3+15				
5	岩佐 歩夢	35.5	2	3+15	2+7.5	2+0	4				
6	山本 尚貴	29	11	1+8	0	1	8				
7	大湯 都史樹	25	0	0	3	1+15	1+5				
8	福住 仁嶺	21	5	3	0	3+8	2				
9	太田 格之進	18	2+8	6	0	0	2+0				
10	阪口 晴南	12	3+4	5	0	0	0				
:											
-	三宅 淳詞	0	0	0	0	0	0				

順位	チーム	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9
			鈴鹿	AP	SUGO	富士	もてぎ	富士	富士	鈴鹿	鈴鹿
1	TEAM MUGEN	82.5	2+20	15+2	7.5+10	0+11	4+11				
2	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	65	1+8	20+6	4+0	6+0	20+0				
3	VANTELIN TEAM TOM'S	42.5	0+0	11+0	5.5+0	20+0	6+0				
4	KONDO RACING	41	15+0	4+0	2.5+1.5	0+0	15+3				
5	PONOS NAKAJIMA RACING	39	11+6	8+0	0+0	1+4	8+1				
6	VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	32	4+0	5+0	0+3	0+15	0+5				
7	Kids com Team KCMG	22.5	0+5	1+3	0.5+0	3+8	0+2				
8	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	9	0+0	0+0	0+2	2+5	0+0				
9	TGM Grand Prix	3	0+3	0+0	0+0	0+0	0+0				
10	San-Ei Gen with B-Max	1	0	0	1	0	0				
-	docomo business ROOKIE	0	0	0	0	0	0				
-	ThreeBond Racing	0	0	0	0	0	0				

